

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公開番号】特開 2003-213196 (P2003-213196A)

【公開日】平成 15 年 7 月 30 日 (2003.7.30)

【出願番号】特願 2002-12760 (P2002-12760)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 D 127/12

B 3 2 B 27/30

C 0 9 D 5/03

C 0 9 D 151/06

【 F I 】

C 0 9 D 127/12

B 3 2 B 27/30 D

C 0 9 D 5/03

C 0 9 D 151/06

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 13 日 (2004.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

含フッ素樹脂 (B) を主成分とする含フッ素樹脂粉体塗料組成物において、含フッ素樹脂 (B) 100 質量部に対して、下記の粒子 (C) が 0.1 ~ 10 質量部含まれてなることを特徴とする含フッ素樹脂粉体塗料組成物。

粒子 (C) : コアと 1 層以上のシェルとからなるコアシェル構造を有する平均粒子径が 0.01 ~ 2.5  $\mu\text{m}$  の粒子であり、かつシェルの少なくとも 1 層および / またはコアが含フッ素ポリマー (A) からなる粒子である。ただし、平均粒子径とは、動的光散乱法により測定した重量平均粒子径である。

【請求項 2】

前記含フッ素樹脂 (B) が、エチレン性不飽和基を有する含フッ素モノマー (X) を重合することにより得られる含フッ素重合単位 (x) を有するものである、請求項 1 に記載の含フッ素樹脂粉体塗料組成物。

【請求項 3】

前記粒子 (C) が、コアとして軟質フッ素ポリマー、シェルとしてコアよりも高硬度のポリマーである、請求項 1 または 2 に記載の含フッ素樹脂粉体塗料組成物。

【請求項 4】

塗膜を有する物品であって、該塗膜が請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の含フッ素樹脂粉体塗料組成物から形成されてなる物品。